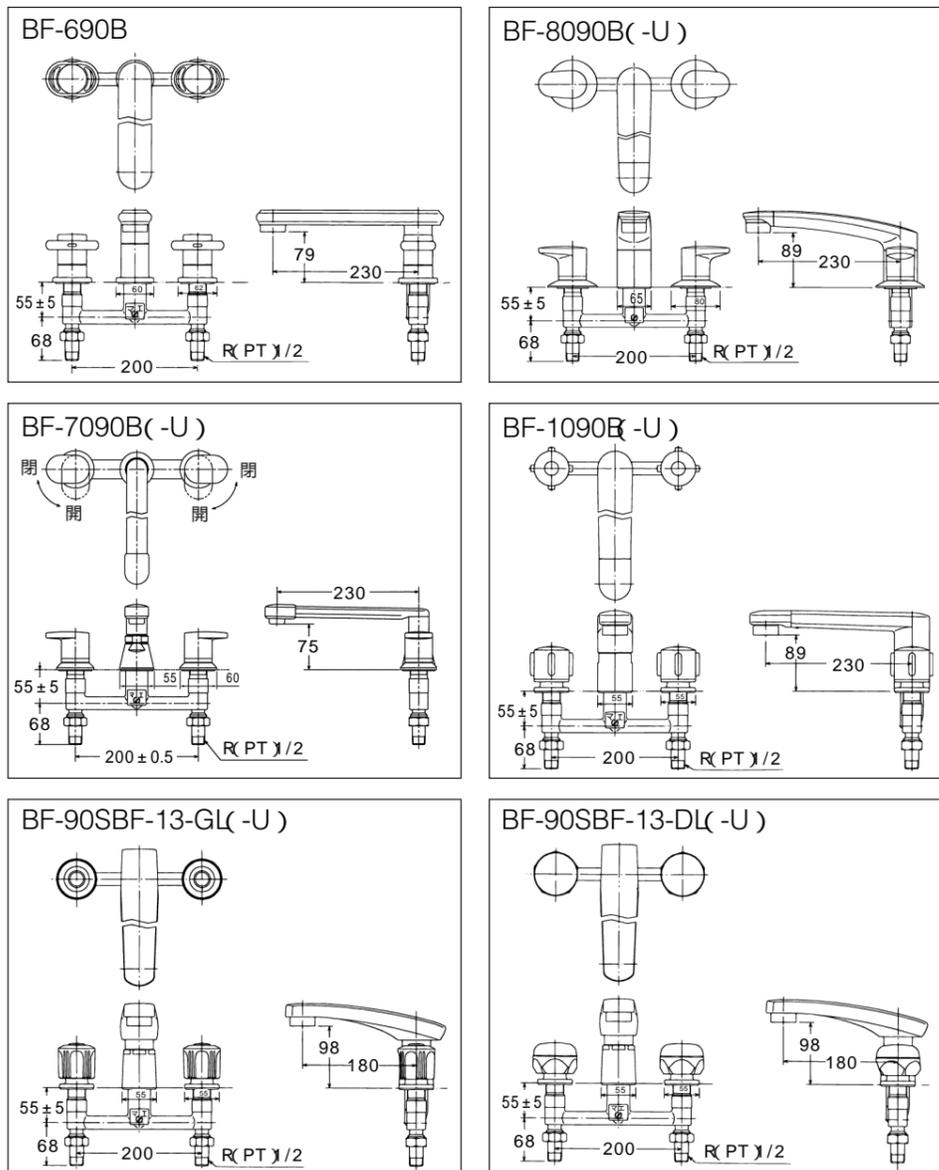


ツートハンドルバス水栓

一般地用	寒冷地用
BF-690B	BF-8090B-U
BF-8090B	BF-7090B-U
BF-7090B	BF-1090B-U
BF-1090B	BF-90SBF-13-GL-U
BF-90SBF-13GL	BF-90SBF-13-DL-U
BF-90SBF-13DL	

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書をお客さまにお渡しください。

商品図



BF-90SBF(250)-13-GL(-U)は吐水口の長さが250mmです。
BF-90SBF(250)-13-DL(-U)は吐水口の長さが250mmです。

安全上のご注意

施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
施工完了後、正常に作動することを確認してください。
この施工説明書は、お客さまで保管頂くように依頼してください。

注意

- 湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。
- お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

給水・給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器(比例制御式:16号相当)と組み合わせる場合〕
給水圧力 { 最低必要圧力.....A + 0.05MPa{ 0.5kgf/cm² }
 { 最高圧力.....0.74MPa{ 7.5kgf/cm² }
 Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

- 測定条件
湯側ハンドルは全開です。
ガス給湯器との組み合わせ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度42℃)によるものです。
給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。

〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力.....0.05MPa{ 0.5kgf/cm² }
 { 最高圧力.....0.74MPa{ 7.5kgf/cm² }

- 温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。
給水圧力が0.74MPa{ 7.5kgf/cm² }を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力(0.20~0.39MPa{ 2~4kgf/cm² }程度)に減圧してください。
給湯に蒸気は使用できません。

施工前のご注意

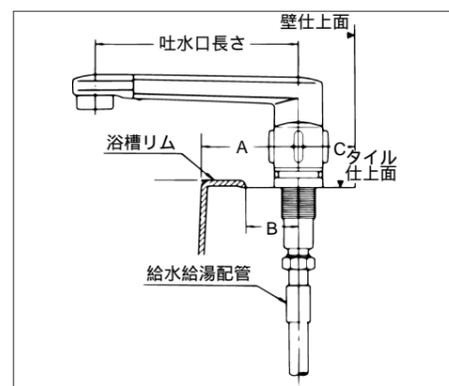
- 給水は上水道に接続してください。
温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
水道工事と浴槽取付工事は、十分に工程を打合わせのうえ行ってください。
給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
逆配管では表示通りに湯が出ません。
給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
商品の表面には直接工具を掛けないでください。
工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないよう十分注意してください。
取付け後の保守点検や流量調節のために必ず止水栓(別売)と点検口を設けてください。
必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

施工方法

以下の手順で正しく取り付けてください。
以下はBF-1090B(-U)の例で説明しますが、他の品番も同様です。

1. 取付位置の決定

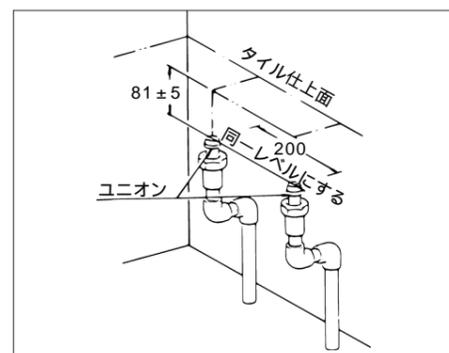
芯出しが不十分だと水栓の取付けや浴槽内への吐出の障害となる恐れがありますので、次の寸法を厳守してください。



品番	吐水口長さ	A	B	C
BF-90SBF-13-GL(-U) BF-90SBF-13-DL(-U)	180mm	100mm以下		
BF-690B BF-8090B(-U) BF-7090B(-U) BF-1090B(-U)	230mm	150mm以下	40mm以上 BF-8090B(-U) は50mm以上	55mm以上
BF-90SBF(250)-13-GL(-U) BF-90SBF(250)-13-DL(-U)	250mm	170mm以下		

2. ユニオンの取付け

配管に水栓付属のユニオンを接続し、タイル仕上面までの寸法が81±5mmになるようにします。



3. 本体の取付け

ユニオンナットを締めて本体を配管に取り付けます。

4. 漏水の有無の確認

(1)スピンドルにハンドルを仮付けして、ハンドルを閉じます。

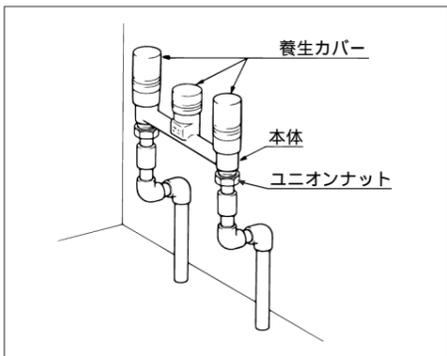
「7. 吐水口とハンドルの取付け」を参照のうえ、ハンドルの回転方向に注意してください。

(2)通水して接続部より水漏れが無いことを確認します。

確認後、ハンドルを再度閉じて外してください。

(3)養生カバーを、もとの位置に正確にもどします。

養生カバーはタイル仕上げが終わるまでかぶせておいてください。

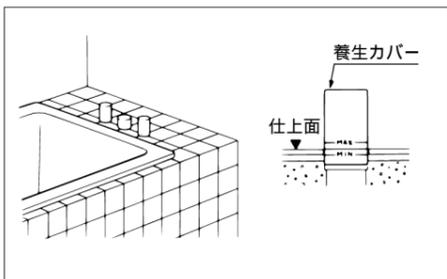


5. タイル仕上げ

養生カバーに表示してある仕上範囲内に納まるように埋戻しとタイル仕上げをします。

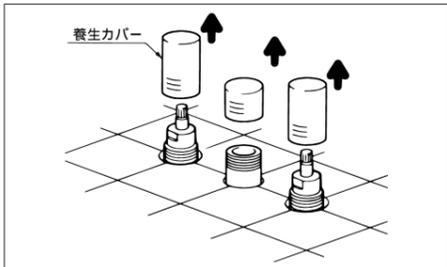
仕上範囲内に納めないと取り付けできません。

養生カバーの内側にモルタル等が入り込まないようにしてください。



6. 養生カバーの取外し

養生カバーを抜き取ります。

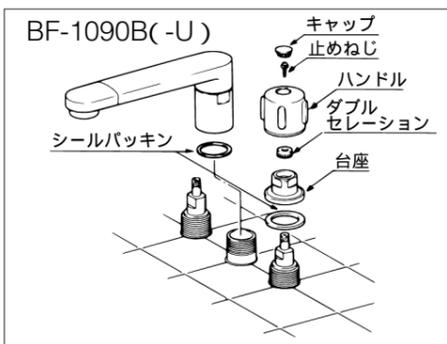


7. 吐水口とハンドルの取付け

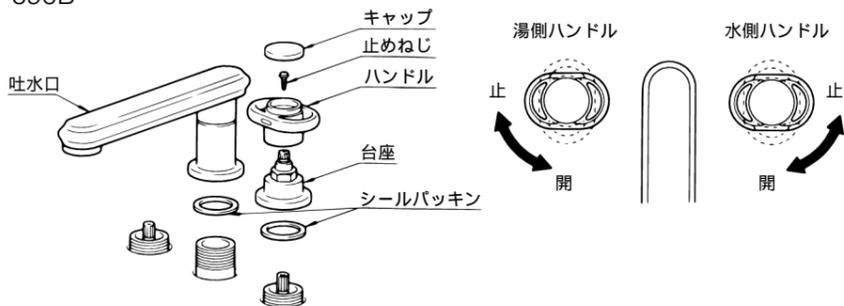
タイル目地のくぼみから水が入り込まないようにメジシールを塗布して、吐水口とハンドルを取り付けます。

はみ出したメジシールはよくふきとってください。

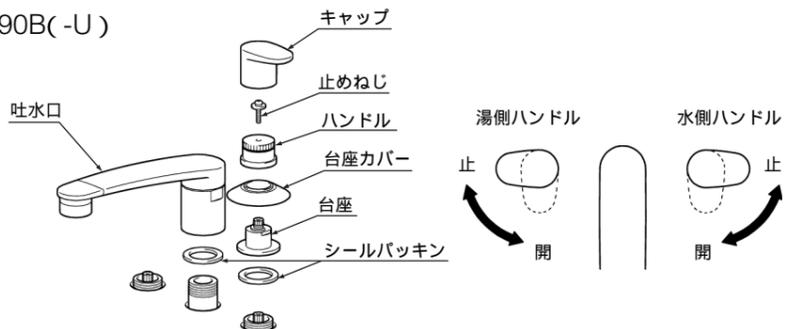
BF-690B, BF-8090B(-U), BF-7090B(-U)は、止水位置が下図の位置になるように、ハンドルを固定してください。



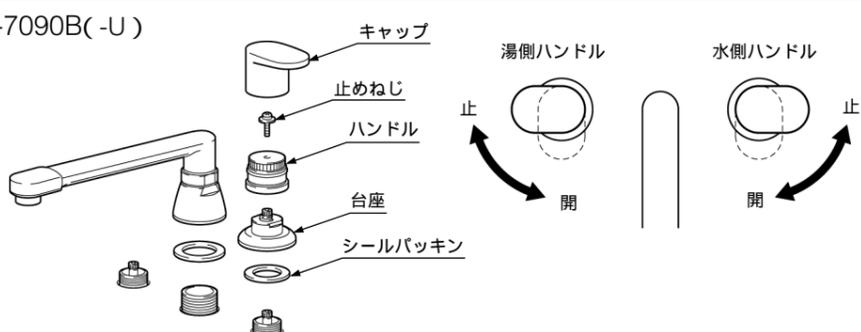
BF-690B



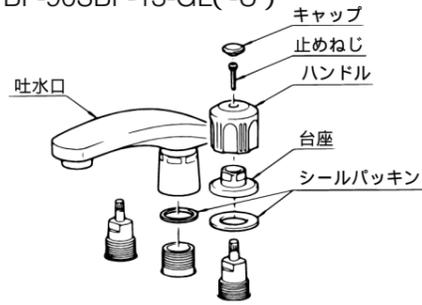
BF-8090B(-U)



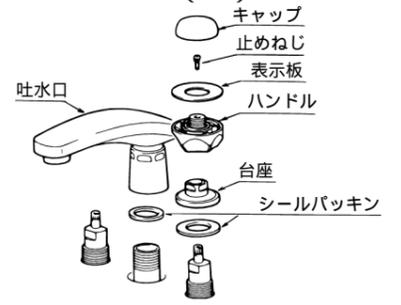
BF-7090B(-U)



BF-90SBF-13-GL(-U)



BF-90SBF-13-DL(-U)



引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

故障と点検

点検箇所は下図を参照してください。

点検、修理後のハンドル取り付けは前述の「7. 吐水口とハンドルの取付け」に従って行ってください。

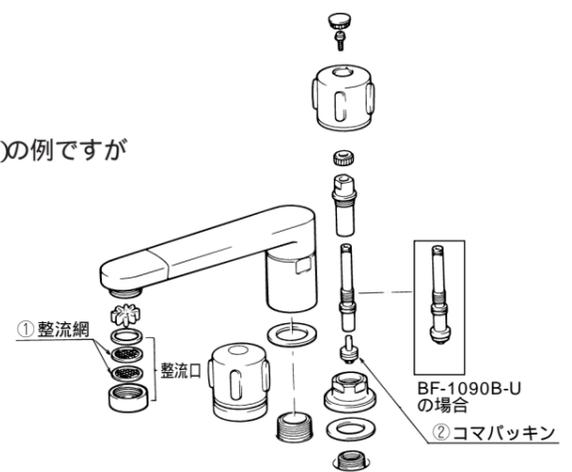
現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	整流網にゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらぬ	ゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	②	キズがあれば部品を交換する。

BF-1090B(-U)

BF-90SBF-13-GL(-U)

BF-90SBF-13-DL(-U)

下図はBF-1090B(-U)の例ですが他の品番も同様です。



BF-690B

BF-8090B(-U)

BF-7090B(-U)

下図はBF-7090B(-U)の例ですが他の品番も同様です。スピンドル部は専用工具「KG-5」にて取り外してください。

